

# 特許紹介

第24巻第1期 昭和13年1月

## 礎柱の階段的擴大方法

(特許第121888號 特許權者(發明者) 木田保彦)

此の發明は、礎柱の中程又は底部に任意所望の大きさを有する擴大部を容易に築造し得る方法を提供せんとして考案したものであつて、即ち生子板製凹形非棒(1)を接続して非棒構成の途中又は終りに於て非棒より大径の擴大部を掘鑿し其の天井壁に適應する支持板(図-3)〔固定板(2)、摺動板(4)、支脚(3)より成る〕を配

圖-1.

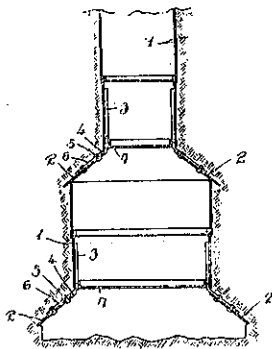


圖-2.

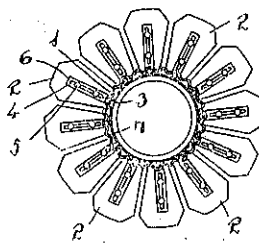
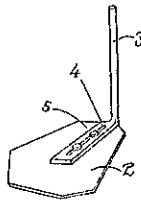


圖-3.



列し(圖-2)、支脚(3)を生子板の凹溝に没入せしめ支脚の根部を内環(7)にて一様に圧着せしめて支持板を安定に保ち、地質に応じて階段的に築造する方法である(圖-1)。

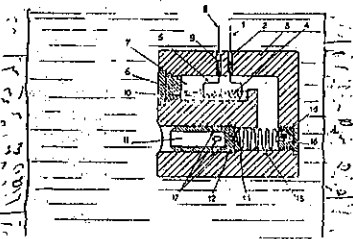
## 掘穿孔の孔壁内より岩片を採取する装置

(特許第122061號 特許權者(發明者) マルセル、シユルンベルゲル)

従来最も普通に使はれてゐる掘穿孔装置は回転式で此の装置の穿孔錐の底部に管狀探掘工具を取付け、掘穿孔底からコアを採取するのであるが、コアを地表上に取出す際一々回転錐全体を地表上に引揚げる必要があるため作業時間を延長し、作業費を増大する缺點がある。

此の發明は此の缺點を除去する目的を以て考案せら

圖-4. 發射前



れたものであるが、掘穿孔の孔壁内に突入する中空射弾(11)を用ふるもので、之を爆薬の爆發作用に依つて發射せしめる發射器と、之と中空射弾(11)を連結する可撓連結線(13)と、發射器と射弾を孔内に垂下すると共に地上に引揚げる装置と、爆薬(10)を爆發せしめる装置とを具へしめたものである(圖-4, 5, 6)。

圖-5. 發射後

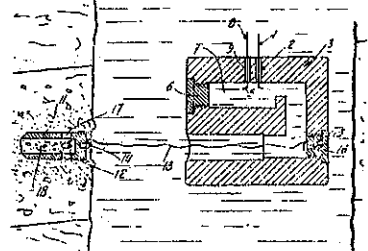
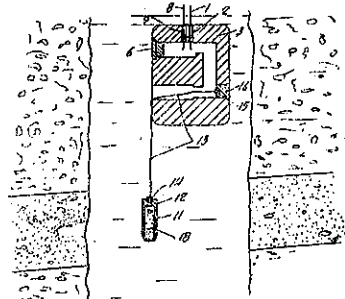


圖-6. 引上げ

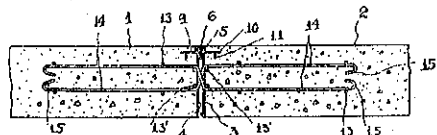


## コンクリート鋪裝等に於ける伸縮装置

(特許第122141號 發明者 西田松太郎 特許權者 淺野物産株式会社)

此の發明は従來の此の種伸縮装置が相隣れる層間に齟齬或は沈下を來す缺點あるに鑑み、之を除去せんとして考案したもので、相隣れるコンクリート層間の目地部に金屬薄板製の空胴体(4)を置き、其の上端に充填材(6)を挾持する渠材(5)を嵌着せしめると共に、相隣れるコンクリート層間に鉄筋を縦横に交錯せしめて埋設し、その内目地部を直角に過る鉄筋をして前記空胴部

圖-7.



(4)内で交互に「L」形及「J」形に屈曲せしめたものである(圖-7)。

## ポルトランドセメント防水性補強劑製造法

(特許第122270號 特許權者 松野房吉)

此の發明は、燒成ドロマイト及カオリンを脂肪酸ナト

リウムの水溶液で処理し粉成せしむる防水性補強剤製造法であつて、これを添加してポルトランドセメントが凝結硬化する際多量の水酸化石灰を遊離することを防がんとするものである。

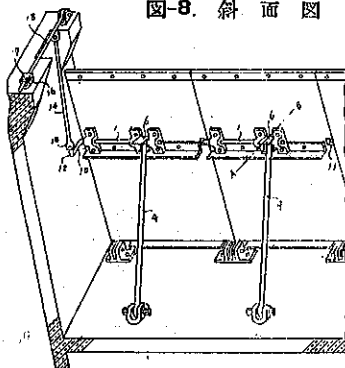
**鉄筋コンクリートの一体式構造物を構成する方法**

(特許第 122280 號  
特許権者 (發明者) ユージェーム フリーシネ)

鉄筋コンクリートの鉄筋を構成するのに高き弾性限度を有する鋼を使用して豫め之に十分高い眼力を受けしめ、以てコンクリート塊に永久的応力を殘存させ、その永久的応力がコンクリート製品を實際に使用せられる時其の受くる外力のために生ずる応力を有利に変化せしめるやうにする時は鉄筋コンクリートの性質を改善して、其の強さを著しく増大せしめ得る事は既に本發明者に依つて發見せられた處であるが、この儘では一体的の構造物に應用し難い。本發明は之を簡單且經濟的に築造し得るやうに考案したもので、即ち梁の場合ならば梁の全長を幾つものエレメントに分けてブロックとして順次端の方からコンクリート打ちを行つて行き、複数のエレメントに共通なる鉄筋は、今からコンクリート打ちをやらうとするエレメント部分に埋込められる鉄筋部分を、先きの打ち終つたブロックの硬化した後に、引張つて緊張状態に置き、その緊張程度は此のエレメントが後程實用に供せられる時に受くべきストレスの如何によりて定めるものである。

**用水堰**  
(特許第 122318 號  
特許権者 (發明者) 堀山 巖)

圖-8. 斜 面 圖

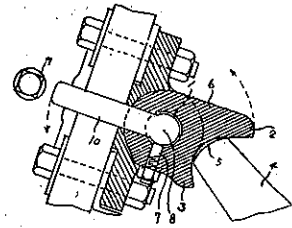


此の發明は用水堰を多數の堰扉に分け各堰扉の連結を簡易安全ならしめると共に、簡単な操作に依つて各堰扉を短時間にリレー式に倒伏せしめ得

るやう考案を加へたもので、即ち各堰扉の裏面に横軸(1)を取付け、其の一端に定着した受支片(6)に嵌着する支柱(4)が常に受支片の回轉中心を外れて少し上方を押し、之に依り横軸(1)を常に上方に回轉せしめんとする

やうにし、之を平衡せしめて各堰扉の静止安定を保つと同時に、各扉を連絡せしめる爲、第1堰扉に於ては横軸の他端に設けた直立杆(12)に嵌着押圧すべき動杆(14)を河岸に設け、第2堰扉以下に於ては横軸の他端を川上の方向に折曲げ之を隣扉の嵌入口(11)に嵌入するやうに構成したものである(圖-8, 9)。

圖-9. A-B 截断面側面圖

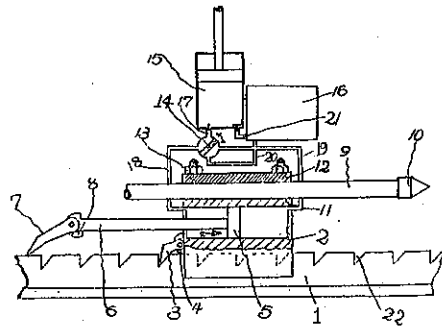


**地中に管体を挿入する装置**

(特許第 122321 號  
特許権者 (發明者) 崎道朝哉)

此の發明は、軌道(1)上に摺動する主体(2)を設け主体にパイプ(9)を挾持し得る如くにし、其の内部に複動ピストン(5)を設け、複動ピストンのピストンロッド(6)の端部に取付けた爪体(7)を前記軌道上に設けた凹孔に嵌入自在ならしめた所の地中に管体を挿入する裝

圖-10.



置であつて、液圧を利用して管体を徐々に且つ確實に地中に挿入し得べからしめたものである(圖-10)。

**(附) 登録實用新案**

- コンクリート柱鉄筋押へ (第 941574 號 實用新案權者 公考 12 年第 5361 號 氏川五郎)
- 星形鉄筋コンクリート杭 (第 241647 號 實用新案權者 公考 12 年第 4069 號 池村文次郎)
- 枕木緊縮用ブックボルト (第 941784 號 實用新案權者 公考 12 年第 5413 號 外山貞吉)
- 自動盗水防止水門装置 (第 941860 號 實用新案權者 公考 12 年第 5064 號 錦 輝泰)
- 谷積コンクリートブロック (第 241031 號 實用新案權者 公考 12 年第 6088 號 堀田晋一)
- 取水井 (第 242051 號 實用新案權者 公考 12 年第 7859 號 堀崎年治)

(吉 藤 幸 朔)